

# 第2回JDKF.空手道競技大会

## 競技申し合わせ事項

### 競技について

試合ルールは、(公財)全日本空手道連盟 競技規定(組手競技、形競技) および本大会競技規定・申し合わせ事項に準じる。

### 形競技

1. トーナメント方式で、決勝戦まで赤青同時演武の5人制フラッグ方式で行う。
2. 形選定は自由。(基本形または全空連得意形リストから選ぶ。)
3. 初戦から決勝戦まで同じ形を繰り返し演武できる。
4. 3位決定戦を行う。
5. 競技開始前に、係員が赤青のそれぞれ演武する形名の表示ボードを審判員に見せ、テーブルに掲示しておく。
6. 選手は**事前に形名を申告カードに書いて申告**すること。(当日、招集時に係員に提出する)
7. 競技開始時の形名の申告は手話での表現も可とする。
8. 時間短縮のため、回戦ごとの礼は省略する。
9. コート入場方法は斜め入場とし、コート外での礼は省略する。(コート内での始めと終わりの礼は必須とする。)
10. 空手着の腰紐が結んでなくても反則負けとせず、審判が選手に指導を促す。
11. もし形が途中で止まり最後まで出来なくても、反則とせず判定をする。

### 組手競技

1. トーナメント方式で行う。
2. 3位決定戦を行う。
3. 競技時間は、全て1分30秒間フルタイムとする。  
(ただし、幼児の部は決勝まで1分間フルタイムとする。)
4. 勝敗は、競技時間内に6ポイント差が生じた時点又は競技終了時点で、得点の多い選手を勝ちとする。同点の場合は、規定により先取した選手を決定する。
5. 10カウントルールは、適用しない。
6. 残り15秒以内のC2違反(抜け、無防備除く)において、当該選手に「先取」がある場合はこれを取り消す。
7. 小学生以下の部においては、突き蹴りともに、上段へ接触した場合は軽微であっても原則的にC1違反とする。
8. 小学生以下の部においては、足払い、投げ技を禁止する。
9. 次の合図においては、情報保障のために、ライトを点灯する。  
・ヤメ：赤色(回転灯)・・・選手の動きが止まるまで。  
・あとしばらく：青色(回転灯)・・・2秒間点灯
10. 全ての部門競技において、拳サポーター、メンホー、胴プロテクター、シンガード・インステップガードの着用を必須とする。
11. ファールカップは小学5年生以上の着用を必須とする。小学4年生以下は任意とする。
12. 大会で使用出来る安全具はメンホー、ボディプロテクターは全空連公認、シンガード・インステップガード、拳サポーターは全空連、高体連およびWKF公認のものとする。
13. 安全具は各自で用意し、安全具装着のない選手は参加できないので、充分注意すること。

## 服装

- 胸マークは自由とする。
- 金属類のヘアバンド等の着装は認めない。
- 帯は自分の帯を外し、競技用の赤帯または青帯を締めること。
- 競技用の赤帯または青帯を持っていない場合、赤紐または青紐を自分の帯の上から締める。
- 高校生・一般のみ、JDKF.の赤帯または青帯を借用することができる。
- 形競技での補装具の装着を認める。
- 組手競技での補装具は、事前に安全を確認されたものについてのみ、その装着を認める。

## その他

- 選手は開会式、閉会式には必ず参加すること。
- 参加者が1名の場合は、競技を行わず、演武披露のみとする。

## お願い

ろう者の選手は審判員の合図の音が聞こえません。

そのため、「はじめ」の合図を、手話で表現いただくよう、ご協力をお願いします。



「はじめ」

## ～ 形競技の入場方法～演武開始までの流れ～



## ～ 形競技の退場方法 ～

1

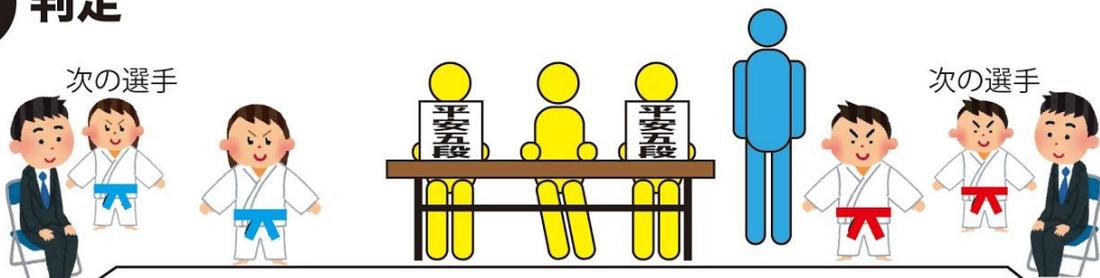
形が終了したらそれぞれ終わりの礼をしてから、  
後方へ下がる。



※形が終了したら、終わりの礼をし、  
コート外まで後方へ下がる。

2

判定



※次の選手は待機位置にスタンバイする。

3

判定が終わったら、赤青それぞれの整列へ戻る。  
(敗れた選手は競技場から退場する。)

